

指定管理評価表(老人福祉センター4園)

令和2年3月31日現在

施設概要	鶴の巣園(尼崎市東園田町6-91-2)、千代木園(尼崎市稲葉荘2-24-5) 福喜園(尼崎市南武庫之荘1-7-20)、和楽園(尼崎市東大物町1-1-3) 開館時間:9:00~17:30(休館日:週1日(各館により異なる)及び祝・年末年始) 施設設置目的:老人福祉センターA型 事業内容:老人に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための機会等を総合的に供与する事業を行う。			
指定管理者の名称	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会			
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日			
業務概要	<ul style="list-style-type: none"> ・上記事業内容の実施に関する事。 ・センターの利用の許可、その取消しその他センターの利用に関する事。 ・センターの施設及び付属設備の維持管理に関する事。 			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	利用者数	240,608 人	264,495 人	277,738 人
	自主事業数	118 事業	118 事業	120 事業
	自主事業開催数	5,139 回	5,543 回	5,663 回
	自主事業参加者数	114,168 人	123,642 人	131,642 人
所管課・所管課長名	健康福祉局福祉部高齢介護課・西野 俊哉			
評価対象期間	平成31年4月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	各園の利用者アンケートの結果や設備特性を踏まえて、教養学習や健康づくりの講座を企画し、サービスの向上と新たな利用者増に向けた取組を行っている。その結果、新規の利用者は微増しており、4園すべてのセンターにおいて、講座等に対する満足度は昨年度に比べて高くなっている。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		B	施設の保守点検や管理等については、適正に実施されている。緊急時や災害時におけるマニュアル等も整備されている。個人情報については厳格に管理されており、職員の研修も適宜実施されている。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		B	収支状況は概ね良好である。経費節減についても努力している。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		B	経営改善の途上にあるが、業務の遂行にあたっては、適正に会計手続きがなされており、経営状況についても概ね良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		B	文書や備品管理に係る事務手続きも適正に行っている。内部評価を実施し、各事業の点検を行っている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> ・各種相談事業・教養学習に関する事業 ・健康増進に関する事業 ・地域支援やボランティア育成等に関わる講座の開催 ・社会参加の推進等・地域福祉活動への人材活用 ・地域福祉活動のコーディネート事業 	利用者との顔の見える関係づくりを活用して、多様化する高齢者の志向を的確にとらえた事業を実施している。近年、教養学習の講座より健康づくりや介護予防のための運動プログラムの参加者が多くなっている。人気が高い運動プログラムは抽選になることもあるため、定員や実施するプログラムを増やすなどの工夫を行っている。新たな利用者数増に向けた取組として、各園でオープンスクールを開催して、気軽に老人福祉センターを利用してもらえるような取組も行っている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	利用者アンケートの結果では、すべての園で、利用者満足度が昨年度より高くなっており、利用者の志向にあったプログラムの企画や事業運営が行われている。ただ、高齢者を取り巻く環境の変化や高齢者ニーズの多様化等により、利用者数は昨年度に比べて減少しており、利用者の固定化、偏在化が見受けられる。今後も、総合老人福祉センターと連携しながら、各園が地域の介護予防の拠点施設となり、更なる利用者増に向けた効果的な事業展開への取組を期待する。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月11日より休館しており、再開にあたっては、利用者の安全確保や総合老人福祉センターとの連携等、高齢者の健康増進、生きがい・仲間づくりの促進に向け、事業の再構築が必要である。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。